



吉野ヶ里町および合同会社ロケモ AI と理工学部が三者連携協定を締結

【概要】

令和2年2月6日（木）に、佐賀大学理工学部は、吉野ヶ里町、合同会社ロケモ AI と三者連携協定を締結しました。

【本文】

令和2年2月6日（木）に、佐賀大学理工学部は、吉野ヶ里町における地域の一層の活性化並びに理工学部及び合同会社ロケモ AI（ろけもあい）の研究・発展に資するため、吉野ヶ里町役場にて、吉野ヶ里町、ロケモ AI、および理工学部との三者連携協定を締結しました。締結式には、吉野ヶ里の伊東 健吾 町長、ロケモ AI 代表社員の梶原 薪 氏、および理工学部の豊田 一彦 学部長の3名が出席し、協定書に署名しました。

締結式の後に実施された記者会見には、佐賀大学の担当教員である中山 功一 理工学部准教授も加わり、三者連携協定の概要を説明し、マスコミ各社からは多数の質問がなされました。

本協定は、本学部との共同研究成果としてロケモ AI が事業展開する、AI 観光マップロケーションサービス、駐車場満空情報共有サービス、位置情報共有サービス、マップデコレーションサービスを、吉野ヶ里町を実証フィールドとして地元の皆様に活用していただくことで、本学のミッションでもある地域貢献を目指すものです。理工学部が技術と研究成果を提供し、吉野ヶ里町は実証フィールドを提供、ロケモ AI は情報プラットフォームを提供するスキームで事業を推進していきます。

この三者が連携して吉野ヶ里町の皆様にサービスを提供する中で、理工学部の技術がさらに発展し、全国の皆様にお役に立てるよう研究開発に取り組みます。

事業提供ロケモ AI ウェブサイト：<https://locamo.jp>



写真 1 : 協定書への署名の様子



写真 2 : 調印後の記念撮影（左から、ロケモ AI 代表社員 梶原 薪 氏、吉野ヶ里町 伊東 健吾 町長、佐賀大学 豊田 一彦 工学部長）